清恵会医療専門学院　准看護学科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・育成人材像	1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に基づき、目的、育成人材像を定めている。同時に新入生ガイダンス、カリキュラムガイダンスに掲載しており、入学時オリエンテーションに活用しながら生徒に周知している。	教育理念・目的・目標は、募集要項やHPに掲載している。入学時に学則や新入生ガイダンス、教育カリキュラム要項等を配布し、時間をかけて説明している。教育活動全般に核となる内容を押さえながら実践していく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育成人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。
	1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護の対象を生活者として幅広く理解し、保健医療福祉チームの一員として准看護師の役割を果たすため、倫理観、専門の知識・技術、コミュニケーション力を身につけた育成人材像を挙げている。	准看護師養成所は減少しているが、家庭や経済的理由により働きながら資格を取得する社会人のためのコースである。本学院は准看護師にとどまらず看護師進学に向けた教育を目指しており、看護の質の向上と看護師の確保に貢献している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育成人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	豊かな人間形成と専門の知識・技術を自ら学び続ける教育活動として、授業ではアクティブラーニングを取り入れ、実習では母体の病院と連携し1対1の受け持ち制により実践力・思考力を身につけている。	専門的知識・技術を自ら学び続け、社会の変化に対応できる准看護師を目指している。豊かな人間形成のために必要な科目や教科外活動を選定している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長と少人数制教育で培われた経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブ・ラーニングやOSCEにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	地域包括ケアシステムの構築に伴い、病院や施設、在宅などあらゆる場所で働く看護職の育成を目指している。本校は10代から50代の幅広い年代の生徒が入学しており、育児と仕事と学業を両立しながら個に応じた准看護師の育成支援を実施している。	地域包括ケアシステムの構想を踏まえ、さまざまな場で活躍できる看護専門職の育成に加え、コミュニケーション力、多職種連携、実践力を身につけ、人々のニーズに応えられる准看護師の育成を目指している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	決定された方向性から、社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱くことは困難であるが、生徒の将来を第一に考え、左記の取り組みを行っている。閉科予定の令和6年度まで、取り組みの継続を期待している。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人の中長期経営計画をもとに、毎年運営方針が決定し、教務会・学科会議で全教員の周知を図っている。教育理念に沿った教育目標を基に、学校運営方針を定めている。	法人の中長期計画に基づき、学院の運営方針を定めている。月1回の運営会議により、学校運営方針を確認し、看護学科、理学療法士科、放射線技師科と協同し、達成に向け取り組んでいる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	年度初めに、法人の中長期経営計画から学校の事業方針が決定される。それを基に各学年担任が前期・後期の学年方針を立てている。前期・後期で計画を振り返り、方針の修正を行い年度末には総括を行い評価をしている。	各施設の”ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略に基づき、事業方針を定めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	運営会議月1回、教務会年4回程度、科長会月1回、その他各委員会を設置し、会議・委員会での協議の上、活動を実施している。	学院運営会議を月１回実施し、学校運営の適正化を図っている。学則や細則、広報、行事、入試、学生の進級・卒業に関する事項などは、運営会議で審議し最終決定される。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議し決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌・服務規程に則り、学科運営を実施している。学年担任2名、担任の補佐2名、科長1名、実習指導教員2名で運営している。	教員の業務分掌・服務規程は細則に定められている。教員は教務科長を含めた5名を配置している。担任制を実施しているが、さまざまな生活背景をもつ生徒達への個別指導が多く業務が煩雑になるため、実習指導教員などを増員し、担任業務の負担軽減を計画している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及び服務に関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	設置主体の法人規程に基づき策定されている。	人事・給料に関する規程は、設置主体の法人が策定している。役割等級制度により、明確化されている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	令和4年度は、新カリキュラムによる教育がスタートした。社会の変化に対応できる准看護師の育成のため、地域包括ケアシステム、他職種連携を意識した科目や講師の選定、病院以外の実習施設を取り入れ、授業計画を定めている。	教育理念などに沿って学科で教育課程を編成しており、教務科長および担任教員が学生に明確な実施方針を説明し周知を図っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また生徒にも周知が図られている。
	3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	1年前期では学習方法を身につけ、ワークライフバランスを整えること、後期は他者と協働する姿勢や看護の基礎知識を身につける。2年次は実践を通して技術の習得と専門の知識を定着させ、資格試験合格を目指すことを目標としている。	年度毎に、教育目標の到達レベルを明確にし、年次目標に沿って学生が目標を掲げている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また生徒にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	基礎科目では国語、英語、人間の生活・社会を設定し、コミュニケーション力や対象を生活者として幅広く理解する内容とした。専門基礎科目では人体の仕組みと働き、疾病の成り立ち、薬理、微生物、保健医療福祉のしくみと看護の法律など専門職に必要な知識を、専門科目では看護技術の基本やあらゆる発達段階・健康段階にある対象の看護を学ぶ内容とした。基礎から応用へと順序だてて知識と実践を学んでいけるよう編成した。	新カリキュラムを機に改めて教育目的・目標に沿った教育課程について検討・編成した。専任教員間で共通認識をもち、一貫性のある継続教育が実践できるように準備を進める。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	令和4年度の新カリキュラムの編成に向けて、教育課程に関連した研修にも積極的に参加し、看護協会主催の委員会の中で他校と情報共有し意見を求めた。またカリキュラム委員会を設立し、法人関係者参加のもと学科の教員で話し合い検討を重ねた。	外部講師や実習関係者との連携は図れており、学生のレディネスや学習進度状況など情報を共有し、助言を頂いている。今後は、卒業生の意見も募り、学生が興味や関心が持て主体的に学べる教育課程編成を目指したい。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	准看護師の業務は、医師・歯科医師・看護師の指示のもと看護業務を行う資格ではあるが、実習や事例発表を通して、個々の看護観を養い、看護師への進学を視野に入れながら日々教員は関わっている。	実習期間の中で実践力を積んでいるが、社会からの期待に応えるためには自己教育力を向上させること、准看護師に留まらず進学を目指す重要性について指導している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大阪府専任教員養成講習会の研修を終了し5年、10年、20年以上の教員を配置している。要請があれば他学科の教員も指導がとれる体制をとっている。	必要数は確保できているが、多様な学生への対応や実習施設側からの要望に応えるためには定数以上のマンパワーが必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	研修費については毎年確保されており、専門領域の学会や研修など、各々の教員が希望すればいつでも参加できるシステムになっている。今年度はオンライン研修や学校内での合同伝達講習会に参加し、教育の資質の向上に努めている。	コロナ禍ではあるが、リモート研修への参加や施設内では勉強会や伝達講習会などを状況に合わせて開催し、教育の質向上に努めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	生徒全員に授業評価を実施している。また、各々の教員が講義終了後ごとにリアクションペーパーを活用し、タイムリーに生徒の意見を反映しながら授業を展開している。	生徒の授業評価は実施しており、各教員で授業の振り返りを行い、次の授業に繋げている。今後は授業参観も取り入れ、客観的評価も取り入れながら、組織で授業研究を図っていく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則や細則規程に基づき運営している。出席率を満たした者が学科試験・実習評価を受け、合格基準を満たせば履修許可が得られ、すべての科目を合格した者が卒業できる。年度末には進級判定、卒業判定を行い、学院長及び理事長が最終判定を行う。	成績評価・修了認定基準については学則に定め、適切に運用している。進級・卒業・単位認定に係る事案については、学科会議・科長会に諮り、審議している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。課題としては、全生徒及び保護者への評価した成績の公開が挙げられる。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	課題学習発表、実習での学びの報告会、事例発表、技術試験などを実施し、評価基準を設けて評価を行い、学生に還元している。また、教員間で学生の到達度を共有し、個別指導につなげている。	課題学習発表会、実習報告会、事例研究発表会など、コロナ禍においても学習共有の場が縮小しない様に、学年で企画・実施を工夫しており、そこには教員も参加し、成果を把握している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ガイドラインの准看護師養成課程の基準に基づき、必要な科目や時間数を明確にしており、資格を取得するまでの道のりについてもガイダンス上に明記し、学生に説明している。	資格試験受験資格・免許の取得については、教育課程上に明確に位置付けている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする准看護師資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	1年次より低学年模試を行い、その結果を踏まえて学習の動機付けを行い、知識が定着できるように指導を行っている。2年生では資格試験問題集を活用し、実習とリンクしながら計画的に学習を進めている。模擬テストも3回実施し、個人の学習到達状況を把握している。	資格試験対策委員を中心に、模擬試験や補習講義など年間計画を立案し、実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	准看護師資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率は100%を維持している。	就職率は100%を維持している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2022年度の准看護師資格試験結果は、全員合格ではなかった。前年度より努力はしたが、合格率100%には届かなかった。今後も、模擬試験や補講授業を中心に成績低迷者の個別指導も強化していく。	資格取得のための対策は十分行っている。しかし、生活や社会背景に問題を抱えている生徒の出席率や成績が低下している為、1年次より意識付けすることを強化していく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対策授業や補講、模擬試験の実施等、准看護師資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。国家試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	生徒の相談についてはクラス担任がまずは面談を行うが、内容によっては教務科長も介入する。また相談内容によっては、スクールカウンセラーに依頼し相談できるような体制をとっている。	担任を中心に生徒の面談や相談を行っている。学業不振や登校の状況が気になる生徒には早期に対応している。今後は、保護者との連絡も時期を考慮しながら行うようにしていく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	生徒相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人の修学資金制度を周知徹底し、また学費の猶予・分納相談にも対応し支援を行っている。大阪府育英会や授業料支援補助金等の申込み事務手続きの支援も行っている。	大阪府育英会の他、法人の修学資金制度を案内しており、9割近い生徒が何らかの奨学金制度を利用している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	生徒の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績低迷な場合や学校生活で問題のある時は、保護者に連絡を取り保護・生徒との三者面談を行う。保護者に学院生活や学習面を理解していただき生徒のサポートを依頼している。	成績不振者や出席が常でない生徒に対し保護者のサポートが必要と判断した場合は、早期に保護者面談を実施している。しかし、親子関係が希薄なケースが増えており、経済的な支援はするがその他の協力は難しい。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。課題としては、全生徒及び保護者への評価した成績の告知が挙げられる。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	施設の改修や准看護師教育に必要な教材は常に補充し学習環境を整備している。	施設や設備は老朽化しているが改修工事により環境は整備されている。コロナ禍においては必須となるICT機材や教育用具は整備されている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	毎年、10月頃に消防訓練を実施し、学生と教員、事務関係者が参加している。また教室や廊下には災害時の対応についてポスター掲示しており、緊急時に備えている。	建物は老朽化しているが、定期的なメンテナンスは行っている。実際には消防訓練しか行えていないため、今後は自然災害を想定した防災訓練を実施することが課題である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	新型コロナ感染症の流行時期を避け、高等学校等の訪問を行い、接続する教育機関に対する情報提供を行っている。	高校教諭対象の進学相談会を実施していたが、コロナ禍により中止となった。大阪府看護学校協議会及び大阪府看護協会の共催で実施している進学相談会入試一覧表には毎年情報を提供している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生の受入募集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校訪問や業者主催の進学相談会は、感染防止に努めながら参加している。また、昨年はコロナの影響でオープンキャンパス・学校見学も中止せざるを得なかったが、今年度は人数制限を行い、安全に実施することができた。	感染防止対策に努めながらオープンキャンパスを実施することができた。2024年度より募集は停止となる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生募集活動は感染予防対策を行いながら取り組んでいた。しかし、決定された方向性から、2024年度より募集停止となる。
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の合否は入学選考基準により適正に審査されている。どのような生徒を育てたいかなどを話し合い、選考基準に沿って選考している。	学則・細則で入学選考基準を明確にし、適正に運用している。学院として育てたい生徒像を教員で話し合い、選考している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考基準については明確化し、適正に運用されている。
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	予算計画を立て、事務と連携し、適正に執行管理を行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令等の遵守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	生徒の個人情報保護として、成績の結果発表については十分に配慮を行っている。実習における患者情報の扱いについては生徒に説明し、理解を得ている。	生徒や教職員に対しての個人情報保護規程を定めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規程を定めている。

9 法令等の遵守	9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検と自己評価は行っている。問題点については、随時改善していくように取り組んでいく。	自己評価と自己点検を実施している。問題点の改善については、その都度見直しを実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善を行っている。
	9-4 自己点検結果を公表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。